

滋賀県内企業動向調査

～2020年4-6月期の実績見込みと7-9月期の見通し～

景況感は一マン・ショック時以来のマイナス55

(株)滋賀銀行のシンクタンクである (株)しがぎん経済文化センター（大津市、取締役社長 北川 正義）では、県内企業の景況感を調査するために「滋賀県内企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。このほど2020年4-6月期分の調査結果をまとめましたので、公表いたします。

【調査の概要】

- ・調査名：滋賀県内企業動向調査（2020年4-6月期）
- ・調査時期：2020年5月7日～26日
- ・調査方法：郵送またはFAXによる配布、回収
- ・調査対象先：滋賀県内に本社を置く企業および県外からの進出企業 907社
- ・回答数：378社（有効回答率42%）うち製造業167社、非製造業211社
- ・分析手法：DI（ディフュージョン・インデックス）
＝「かなり良い」と「やや良い」の回答割合から、
「かなり悪い」と「やや悪い」の回答割合を引いた指数を採用

【調査結果の要旨】

1. 現在の業況判断（P2～4）

- ・今回の調査（20年4-6月期）での自社の業況判断DIは-55で、前回（1-3月期）の-20から35ポイント低下の大幅かつ急激なマイナスとなり、2008～09年のリーマン・ショック時の09年10-12月期（-55）以来、10年半ぶりの-50以下という極めて低い水準となった。
- ・製造業は、前回の-28から31ポイント低下の-59となり、6四半期連続かつ大幅なマイナス水準となった。化学、一般機械はプラス水準からマイナス水準に低下、繊維、木材・木製品、窯業・土石、食料品、金属製品はマイナス幅が拡大した。電気機械、その他の製造業はマイナス幅が縮小するも、低水準が続いている。
- ・非製造業は、前回の-14から38ポイント低下の-52となり、3四半期連続かつ大幅なマイナス水準となった。建設、不動産はプラス水準からマイナス水準に低下、小売、サービスなどはマイナス幅が拡大した。その他の非製造業はマイナス幅が縮小するも、低水準が続いている。
- ・3カ月後（20年7-9月期）は、製造業が15ポイント低下の-74、非製造業は16ポイント低下の-68、全体では15ポイント低下の-70と、マイナス幅はさらに拡大し、リーマン・ショック時の09年4-6月期（-65）をさらに下回る見通しとなっている。

2. その他の判断項目（P4～7）

- ・売上DI（前回：-23→今回：-53）は前回から30ポイント低下し、6四半期連続かつ大幅なマイナス水準となった。
- ・経常利益DI（-24→-53）は前回から29ポイント低下し、7四半期連続かつ大幅なマイナス水準となった。製造業（-29→-56）、非製造業（-20→-51）ともにマイナス幅は大幅に拡大した。
- ・製・商品の在庫DI（+9→+14）は5ポイント上昇。
- ・販売価格DI（-2→-11）は9ポイント低下し、29四半期（約7年）ぶりに-10以下。
- ・仕入価格DI（+21→+4）は17ポイント低下。
- ・生産・営業用設備DI（+2→+5）は3ポイント上昇し、2四半期連続のプラス水準。
- ・雇用人員DI（-25→-1）は、24ポイント上昇し、不足感が大幅に縮小。

3. 設備投資の実施状況（P8・9）

- ・設備投資を実施した（する）企業の割合は37%で、前回（52%）から15ポイント低下。
- ・主な内容（複数回答）は、「車両の購入」（30%）が「生産・営業用設備の更新」と「OA機器の購入」（ともに29%）をわずかに上回った。

【お問い合わせ先】 (株)しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部 宮島 (TEL: 077-523-2245)

1. 自社の業況判断

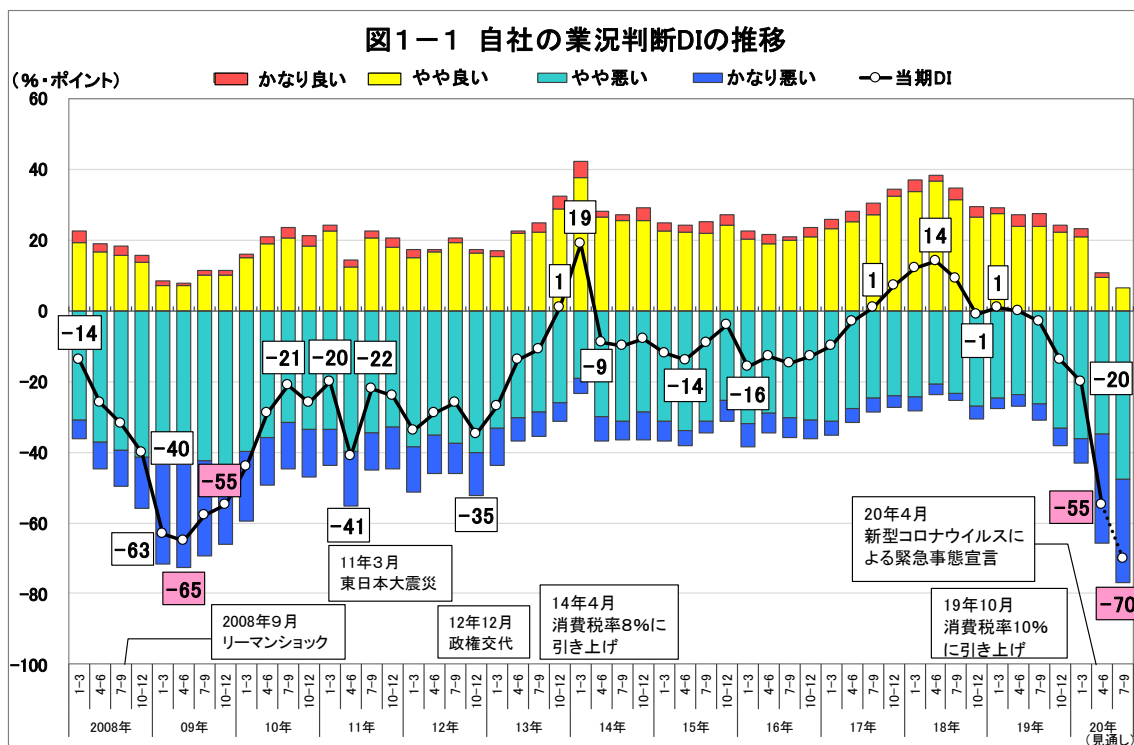
(1) 自社の業況判断DI…景況感は35ポイント低下の-55

製造業は6四半期連続、非製造業は3四半期連続のマイナス水準

1. 全体の動向 (図1-1)

今回の調査(20年4-6月期)での自社の業況判断DIは、前回(1-3月期)の-20から35ポイント低下の-55となり、マイナス幅が大幅かつ急激に拡大。リーマン・ショック時の09年10-12月期(-55)以来、10年半ぶりの-50以下という極めて低い水準となった。

3カ月後(7-9月期)は、全体で15ポイント低下の-70とマイナス幅がさらに拡大し、リーマン・ショック時の09年4-6月期(-65)をさらに下回る見通しとなっている。



2. 業種別の動向 (図1-2、表1)

業種別にみると、製造業は、前回の-28から31ポイント低下の-59となり、マイナス幅は拡大、6四半期連続かつ大幅なマイナス水準となった。化学(+14→-40)、一般機械(+38→-47)はプラス水準からマイナス水準に低下、繊維(-27→-90)、木材・木製品(-14→-100)、窯業・土石(-17→-71)、食品(-55→-69)、金属製品(-38→-82)はマイナス幅が拡大した。電気機械(-50→-36)、その他の製造業(-52→-47)はマイナス幅が縮小するも、低水準が続いている。

3カ月後の製造業全体は、現在から15ポイント低下の-74となる見通しである。

非製造業は、前回の-14から38ポイント低下し-52となり、3四半期連続かつ大幅なマイナス水準となった。建設(+19→-33)、不動産(+22→-38)はプラス水準からマイナス水準に低下、卸売(-26→-54)、小売(-47→-65)、運輸・通信(-27→-44)、サービス(-28→-78)はマイナス幅が拡大した。その他の非製造業(-45→-36)はマイナス幅が縮小するも、低水準が続いている。

3カ月後の非製造業全体は、現在から16ポイント低下の-68となる見通しである。

新型コロナウイルスの感染拡大が本格的に企業経営に影響を及ぼしており、景況感はすべての業種で-30を下回った。

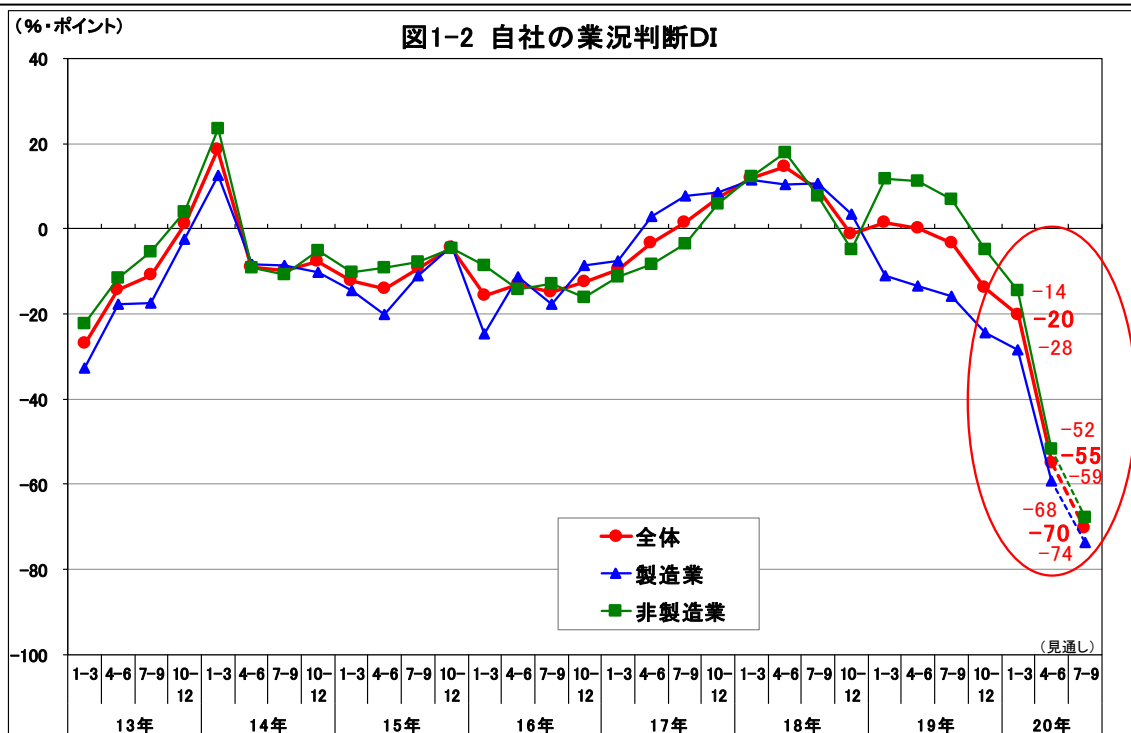


表1 自社の業況判断DI(業種別)

業種(※1)	今回の回答社数	20年1-3月期 前回	20年4-6月期 今回(※2)	20年7-9月期 見通し
全体	378	-20	-55 (-30)	-70
製造業	167	-28	-59 (-36)	-74
繊維	21	-27	-90 (-33)	-95
木材・木製品	6	-14	-100 (-71)	-100
紙・パルプ	×	×	×	×
化学	10	14	-40 (0)	-33
石油・石炭	×	×	×	×
窯業・土石	7	-17	-71 (-17)	-71
鉄鋼	×	×	×	×
非鉄金属	×	×	×	×
食料品	16	-55	-69 (-55)	-71
金属製品	22	-38	-82 (-52)	-100
一般機械	17	38	-47 (-63)	-59
電気機械	14	-50	-36 (-42)	-85
輸送用機械	×	×	×	×
精密機械	×	×	×	×
その他の製造業	36	-52	-47 (-17)	-67
非製造業	211	-14	-52 (-26)	-68
建設	55	19	-33 (-13)	-63
不動産	13	22	-38 (11)	-38
卸売	35	-26	-54 (-39)	-76
小売	34	-47	-65 (-33)	-66
運輸・通信	16	-27	-44 (-36)	-75
電気・ガス	×	×	×	×
サービス	40	-28	-78 (-28)	-82
リース	×	×	×	×
その他の非製造業	14	-45	-36 (-45)	-38

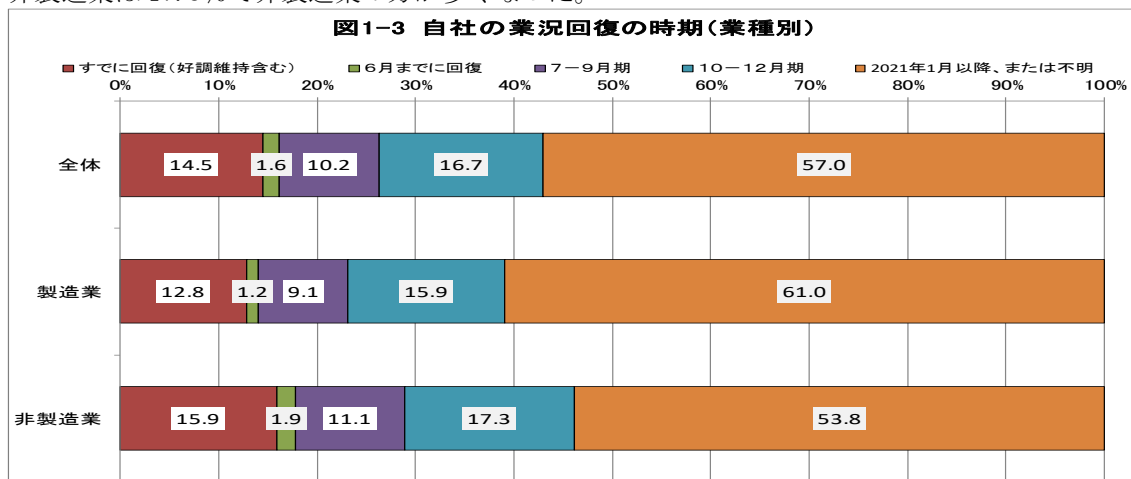
(※1) 回答数が5社以下の業種は非表示(×)

(※2) ()内の数値は前回調査時点での4-6月期の見通し

(2) 自社の業況回復の時期…「21年1月以降(不明を含む)」は6割弱(57.0%) (図1-3)

自社の業況回復の時期をみると、「すでに回復(好調維持を含む)」した企業の割合は14.5%で、「6月まで」(1.6%)を合わせると16.1%となり、前回(30.3%)より14.2ポイントの大幅な低下となった。一方、半年以上先の「21年1月以降(不明を含む)」は57.0%で、前回(44.6%)より12.4ポイント上昇した。

業種別では、「すでに回復(6月までに回復を含む)」した企業の割合は、製造業は14.0%、非製造業は17.8%で非製造業の方が多くなった。



2. その他の判断項目

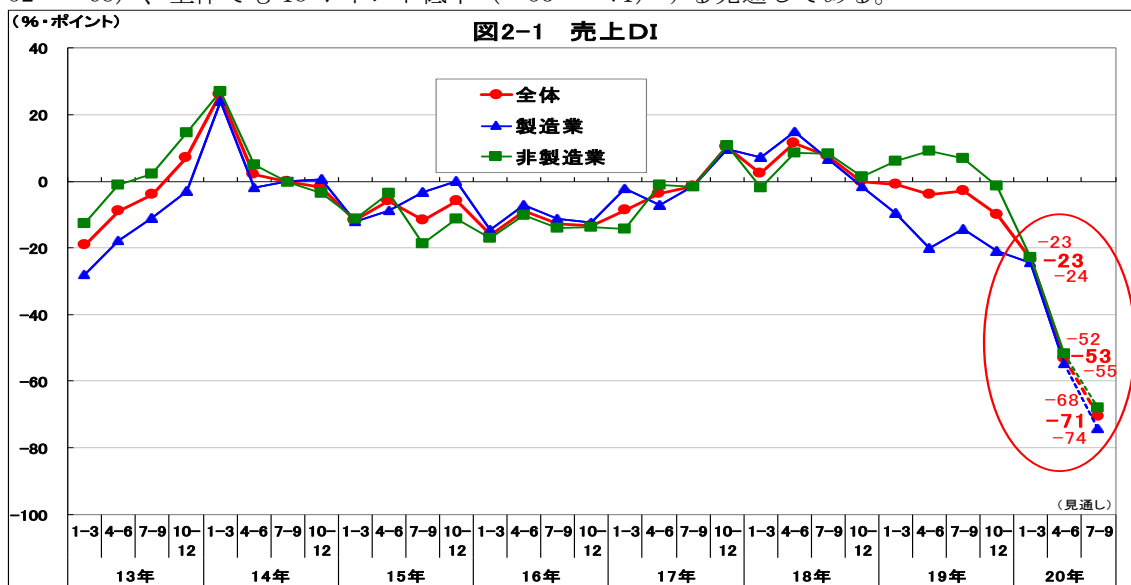
(1) 売上DI…6四半期連続かつ大幅なマイナス水準(図2-1)

現在の売上DI(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は-53で、前回の-23から30ポイント低下し、6四半期連続かつ大幅なマイナス水準となった。

業種別では、製造業は-24から-55に31ポイント低下した。一般機械(+13→-33)はプラス水準からマイナス水準に、化学(0→-30)はもちあいからマイナス水準にそれぞれ低下、繊維(-20→-73)、木材・木製品(-14→-86)、金属製品(-38→-77)、その他の製造業(-16→-47)などはマイナス幅が拡大した。

非製造業は-23から-52に29ポイント低下した。不動産(0→-23)はもちあいからマイナス水準に低下、建設(-14→-44)、卸売(-12→-61)、サービス(-25→-77)、その他の非製造業(-27→-57)はマイナス幅が拡大した。小売(-53→-51)などはマイナス幅がやや縮小するも、低水準が続いている。

3カ月後は、製造業は19ポイント低下(-55→-74)、非製造業は16ポイント低下(-52→-68)、全体でも18ポイント低下(-53→-71)する見通しである。

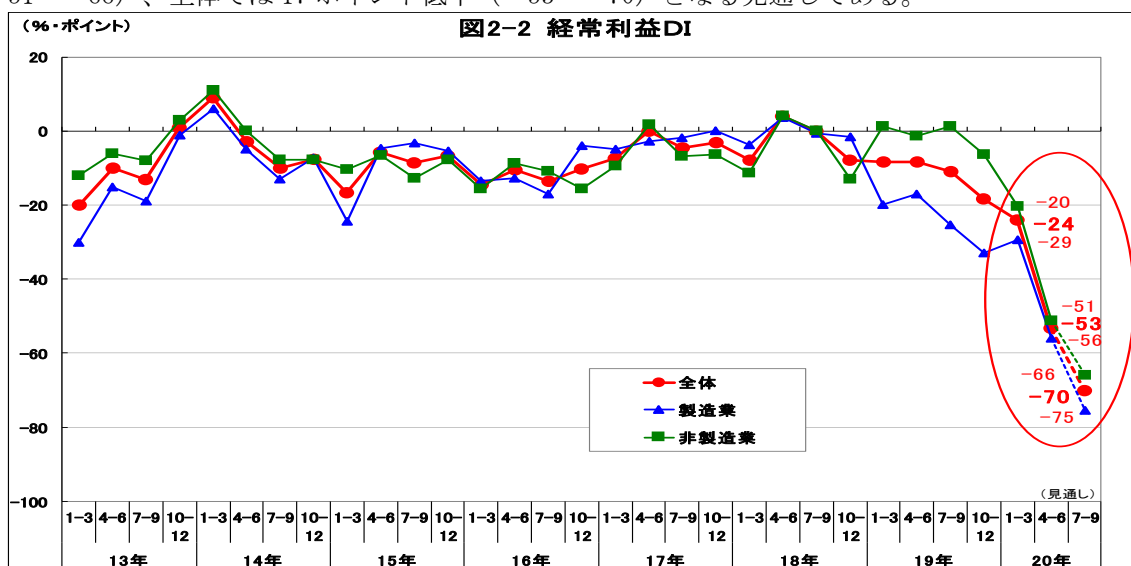


(2) 経常利益DI…7四半期連続かつ大幅なマイナス水準(図2-2)

現在の経常利益DI(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は-53で、前回(-24)から29ポイント低下し、7四半期連続かつ大幅なマイナス水準となった。

業種別にみると、製造業(-29→-56)は27ポイント低下し、8四半期連続かつ大幅なマイナス水準となった。化学(+29→-10)、一般機械(+13→-33)はプラス水準からマイナス水準に低下、繊維(-27→-82)、木材・木製品(-29→-86)、金属製品(-43→-73)などはマイナス幅が拡大した。非製造業(-20→-51)は31ポイント低下し、3四半期連続かつ大幅なマイナス水準となった。不動産(0→-31)はもちあいからマイナス水準に低下、建設(-4→-47)、卸売(-26→-58)、サービス(-15→-75)などはマイナス幅が拡大した。小売(-47→-37)、運輸・通信(-50→-44)はマイナス幅が縮小も、低水準が続いている。

3カ月後は、製造業は19ポイント低下(-56→-75)、非製造業は15ポイント低下(-51→-66)、全体では17ポイント低下(-53→-70)となる見通しである。

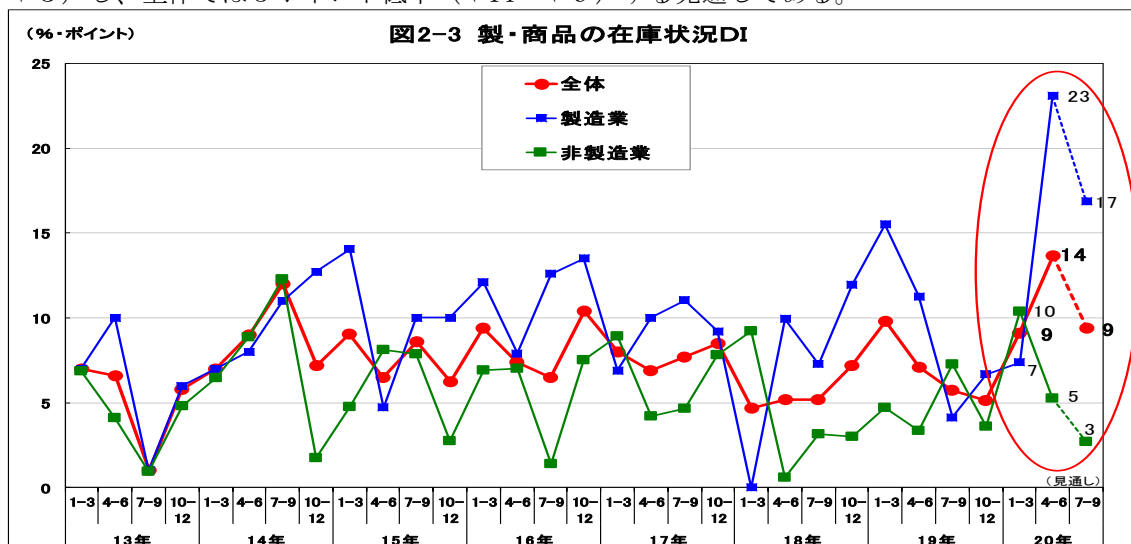


(3) 製・商品の在庫状況DI…5ポイント上昇(図2-3)

現在の製・商品の在庫状況DI(「過大」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は+14で、前回(+9)から5ポイント上昇した。

業種別にみると、製造業は16ポイント上昇(+7→+23)した。窯業・土石(-17→+29)、食料品(+9→+50)、その他の製造業(+4→+28)などで過大感が強まった。非製造業は5ポイント低下(+10→+5)した。小売(+14→+31)などで過大感が強まり、建設(0→-14)、不動産(0→-15)などで不足感が強まった。

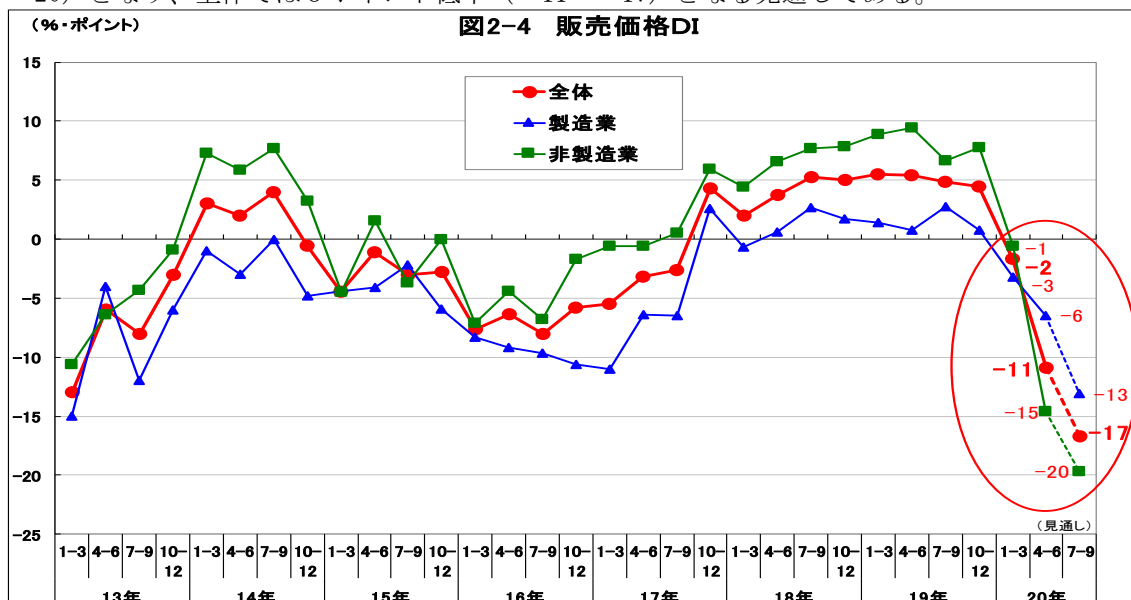
3カ月後は、製造業は6ポイント低下(+23→+17)、非製造業は2ポイント低下(+5→+3)し、全体では5ポイント低下(+14→+9)する見通しである。



(4) 販売価格DI…13年1-3月期以来、29 四半期(約7年)ぶりの-10 以下(図2-4)

現在の販売価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は-11で、前回(-2)より9ポイント低下し、13年1-3月期(-13)以来、29 四半期(7年強)ぶりに-10 以下となった。業種別にみると、製造業は3ポイント低下(-3 → -6)した。繊維(+7 → -5)、木材・木製品(+14 → -14)、化学(+14 → 0)、食料品(0 → -6)などが低下した。非製造業は14ポイント低下(-1 → -15)した。不動産(0 → -17)、卸売(0 → -6)、小売(+3 → -26)、運輸・通信(0 → -8)、サービス(0 → -22)などが低下した。

3カ月後は、製造業が7ポイント低下(-6 → -13)、非製造業も5ポイント低下(-15 → -20)となり、全体では6ポイント低下(-11 → -17)となる見通しである。

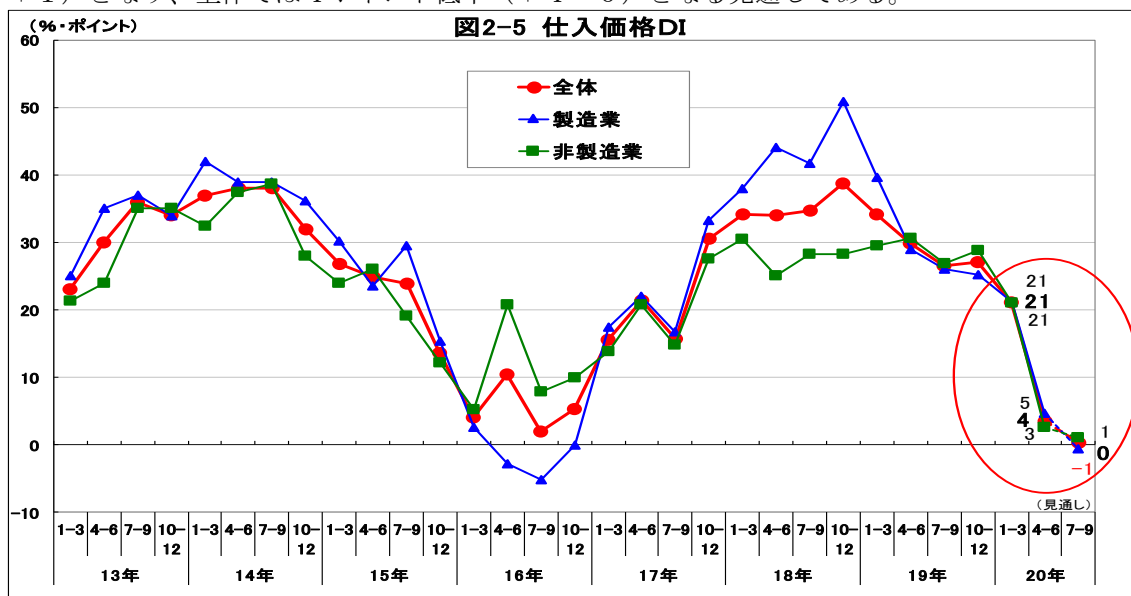


(5) 仕入価格DI…17ポイントの大幅低下(図2-5)

現在の仕入価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+4で、前回(+21)から-17ポイントの大幅低下となった。

業種別にみると、製造業は16ポイント低下(+21 → +5)した。繊維(0 → +14)が上昇、化学(+14 → -10)、窯業・土石(+33 → 0)、電気機械(+25 → 0)、その他の製造業(+28 → -3)などが低下した。非製造業は18ポイント低下(+21 → +3)した。不動産(+13 → -18)、小売(+20 → 0)、運輸・通信(+38 → -8)、サービス(+22 → -6)などが低下した。

3カ月後は、製造業が6ポイント低下(+5 → -1)、非製造業も2ポイント低下(+3 → +1)となり、全体では4ポイント低下(+4 → 0)となる見通しである。

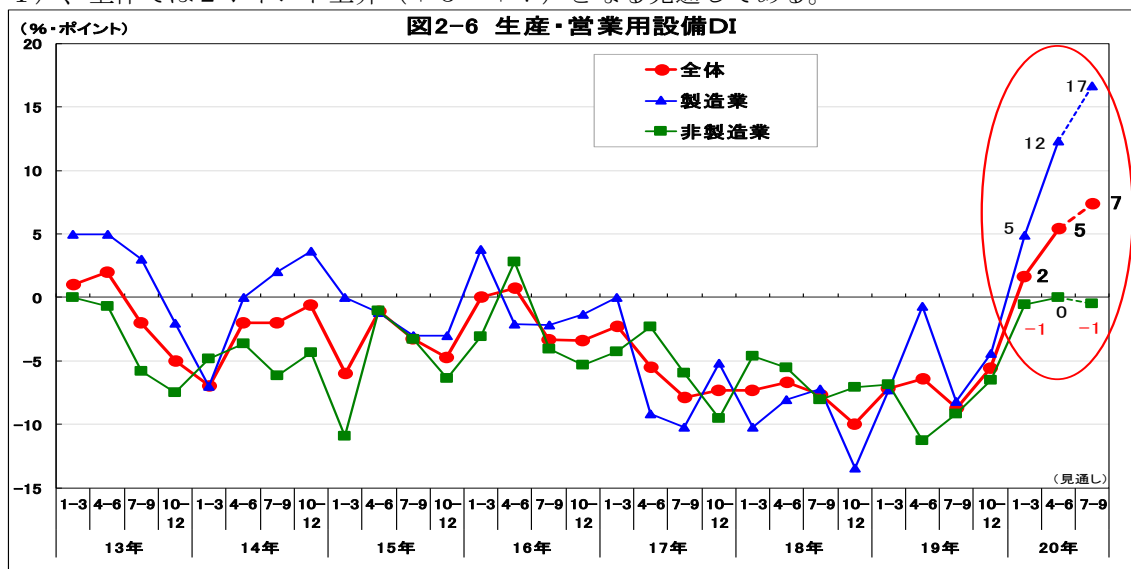


(6)生産・営業用設備DI…2四半期連続のプラス水準(図2-6)

現在の生産・営業用設備DI（「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は、前回（+2）から3ポイント上昇し+5で、2四半期連続でプラス水準となった。

業種別にみると、製造業は7ポイント上昇（+5→+12）した。一般機械（-13→0）などは不足感が解消、窯業・土石（0→+14）、食料品（0→+25）などは過剰感が、木材・木製品（0→-14）などは不足感が強まった。非製造業は1ポイント上昇（-1→0）した。その他の非製造業（-11→0）は不足感が解消、小売（+3→-12）などで不足感が強まった。

3カ月後は、製造業は5ポイント上昇（+12→+17）、非製造業は1ポイント低下（0→-1）、全体では2ポイント上昇（+5→+7）となる見通しである。

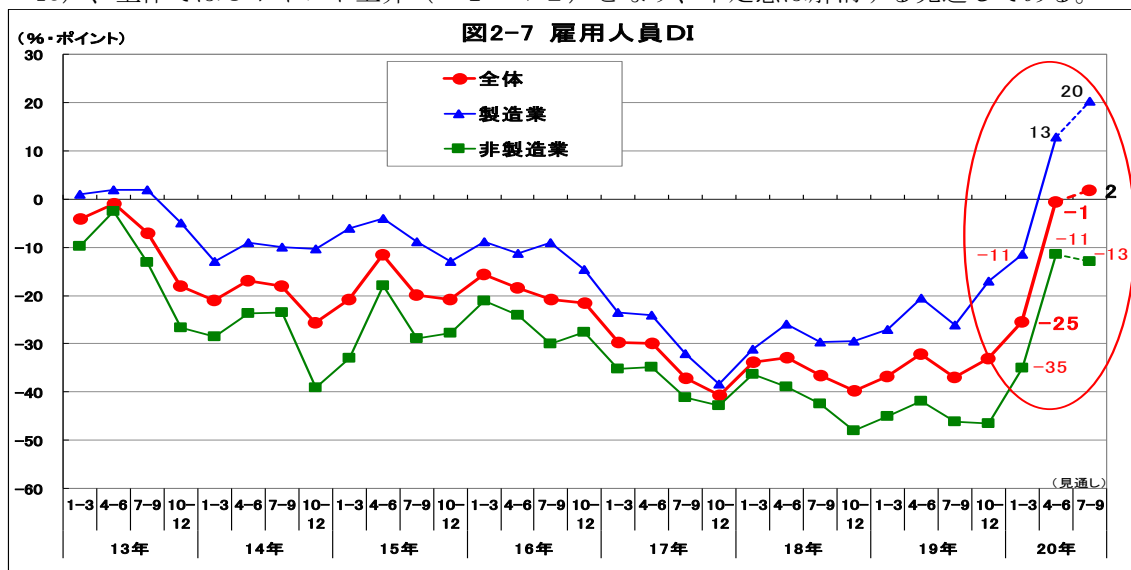


(7)雇用人員DI…不足感が大幅縮小(図2-7)

現在の雇用人員DI（「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は-1と前回の-25からマイナス幅が大幅に縮小し、28四半期（7年）ぶりに13年4-6月期（-1）水準まで不足感が縮小した。

業種別にみると、製造業は24ポイント上昇（-11→+13）した。木材・木製品（-29→0）、化学（-14→0）、電気機械（-17→0）で不足感が解消し、繊維（0→+18）、食料品（0→+31）、金属製品（-5→+32）などで過剰感が強まった。非製造業は24ポイント上昇（-35→-11）した。卸売（-18→+3）、小売（-33→0）、サービス（-27→0）などは不足感が解消した。

3カ月後は、製造業は7ポイント上昇（+13→+20）、非製造業は2ポイント低下（-11→-13）、全体では3ポイント上昇（-1→+2）となり、不足感は解消する見通しである。



3. 設備投資の実施状況

(1)設備投資の実施割合…4四半期ぶりに50%を下回る(図3-1、表2)

今期(4-6月期)に設備投資を実施した(する)企業の割合は37%で、前回(20年1-3月期)52%から15ポイント低下し、4四半期ぶりに50%を下回った。

業種別にみると、製造業は39%で、前回(50%)より11ポイント低下した。その他の製造業(38%→40%)で上昇し、木材・木製品(43%→0%)、化学(71%→50%)、窯業・土石(100%→71%)などが低下した。非製造業は35%で前回(53%)より18ポイント低下した。その他の非製造業(30%→39%)が上昇し、卸売(56%→15%)、運輸・通信(91%→33%)などが低下した。

3カ月後の設備投資実施予定の割合は、製造業が32%、非製造業が27%で全体では29%と、2四半期連続で50%を下回る見通しである。

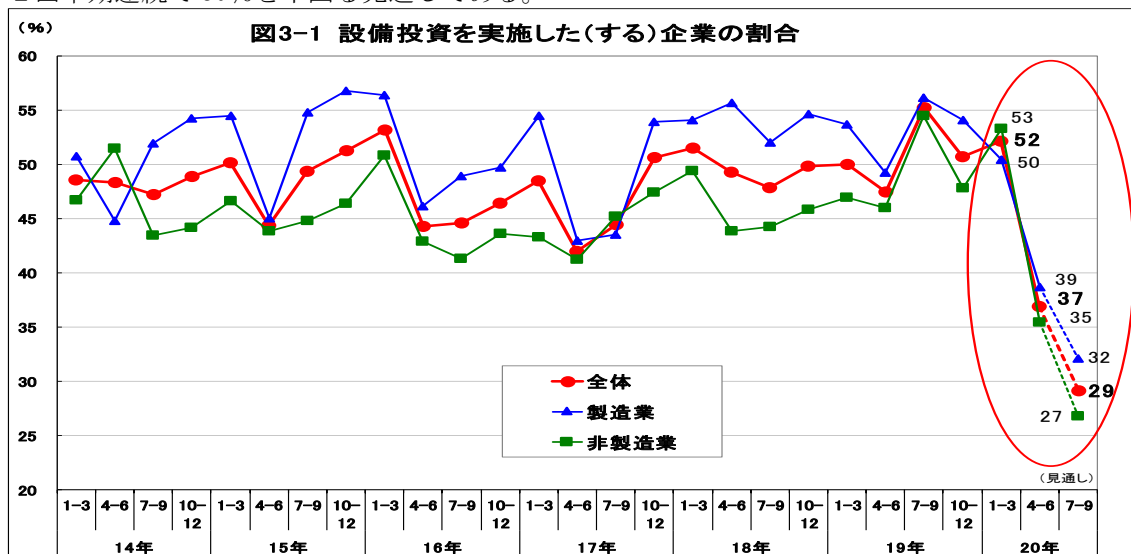


表2 設備投資を実施した(する)の企業の割合(業種別詳細) (%)

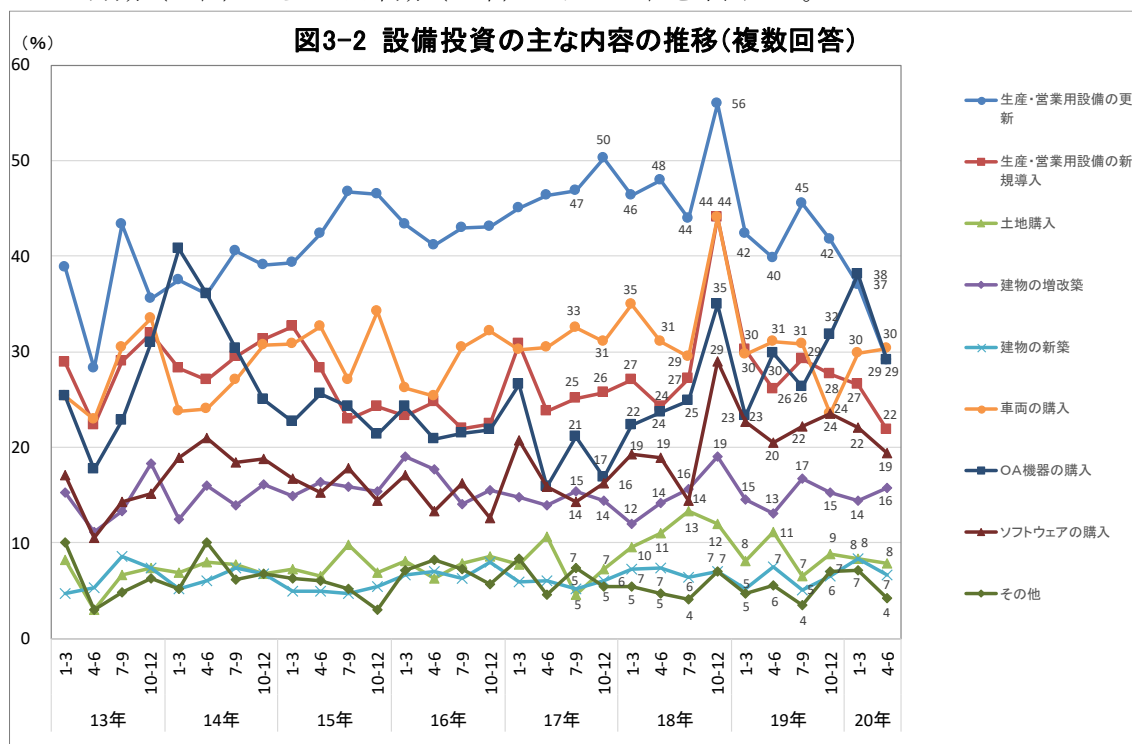
業種(※)	20年 1-3月期 前回	20年 4-6月期 今回	20年 7-9月期 見通し
全体	52	37	29
製造業	50	39	32
繊維	47	33	33
木材・木製品	43	0	0
紙・パルプ	×	×	×
化学	71	50	50
石油・石炭	×	×	×
窯業・土石	100	71	71
鉄鋼	×	×	×
非鉄金属	×	×	×
食料品	45	31	20
金属製品	52	45	29
一般機械	43	39	53
電気機械	42	36	21
輸送用機械	×	×	×
精密機械	×	×	×
その他の製造業	38	40	18
非製造業	53	35	27
建設	59	47	25
不動産	22	15	15
卸売	56	15	18
小売	43	42	33
運輸・通信	91	33	44
電気・ガス	×	×	×
サービス	50	36	27
リース	×	×	×
その他の非製造業	30	38	29

(※)回答数が5社以下の業種は非表示

(2)設備投資の主な内容…「生産・営業用設備の更新」は30%割れ

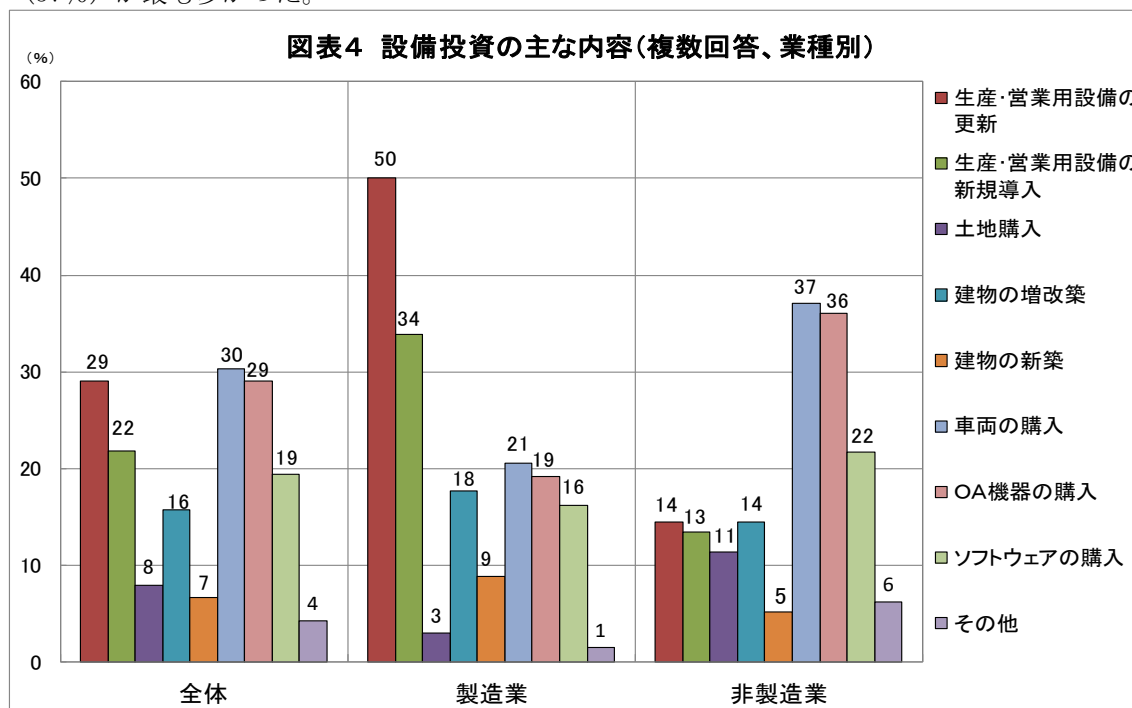
1. 全体の動向 (図3-2)

設備投資を実施した(する)企業のうち、設備投資の主な内容を見ると(複数回答)、「車両の購入」(30%)が「生産・営業用設備の更新」と「OA機器の購入」(ともに29%)をわずかに上回った。「生産・営業用設備の更新」はこれまで4割前後で推移していたが、13年4-6月期(28%)から28四半期(7年)ぶりに30%を下回った。



2. 業種別の動向 (図表4)

業種別にみると、製造業は「生産・営業用設備の更新」(50%)、非製造業は「車両の購入」(37%)が最も多かった。



1. 現在の業況判断の根拠となる具体的な理由や背景（一部抜粋）

【製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	事象
化学	新型コロナウイルスの影響で、エタノールの売上が20%増加。
食料品	新型コロナウイルスの影響で、宅配が増加し、売上が1.2倍になっている。
電気機械	2020年4月(2019年6月～)前年比+14.6%、しかしながら5月→6月は-24.7%の予測。
その他の製造業	受注生産のため、第1Qの売上は3か月前の受注分。新型コロナウイルスの影響は、第2Q以降の売上にあらわれる。 新型コロナウイルスの影響で、海外工場がストップ。その分が国内生産に移行されたため。

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	事象
繊維	新型コロナウイルスの影響により、取引先の売上が減少しており、連鎖的に売上減少。発注が昨年対比30%減少。理由としては、米中関係、新型コロナウイルスが関係している。
木材・木製品	新型コロナウイルスの影響で、売上が約3～5%程度減少。 新型コロナウイルスの影響で今後の見通しが立たないが、売上は減少すると思われる。
化学	大口取引先が減少したため、売上が大幅に減少。 原油価格の下落。
窯業・土石	新型コロナウイルスの影響で、得意先の稼働日数が減少し、売上が7～9%ダウン。 新型コロナウイルスの影響による受注減少と、更なる激減が予想される。
食料品	イベント商談会などの中止、緊急事態宣言による得意先の営業自粛により、酒類の売上が55%減少。 新型コロナウイルスの影響で、主要取引先の外食産業がストップしているため。
金属製品	世界中の自動車会社の減産で売上が30～40%減少。 昨年の貿易摩擦による設備・装置類の動き停滞に加えて、新型コロナウイルスの影響で、さらに増幅して売上が減少。 ソーラーパネル製品の検査業務や、金属部品製造の仕事量減少により、売上高減少。
一般機械	新型コロナウイルスの影響で、工事の遅延及び延期が発生。 自動車の生産停止や販売台数減少に伴い、工作機械業界向けの受注が大幅減少。
電気機械	新型コロナウイルスの影響で、電子部品の入手が困難だが、センサーの需要は増加。 新型コロナウイルスの影響で、自動車生産・販売の低迷で売上が30～50%減少。
その他の製造業	新型コロナウイルスの影響により、枝肉価格は大きく下落。 新型コロナウイルスの影響により、予約のキャンセルが相次ぐ。 食品用途は内食傾向もあるので堅調も、飲料、工業用途は苦戦。 米中貿易関連で多少売上が減少しつつある。 新型コロナウイルスでの非常事態宣言で小売りがストップし、在庫も過大。生産調整を実施している。 経済停滞の影響により、生産活動が縮小。鉄鋼製部品の熱処理加工の売上が35%減少している。

【非製造業】

「良い」 (かなり良い+やや良い)

業種	事象
建設	前期からの繰越工事が多く、売上、利益とも増加。次期の繰越工事も確保できているが、今後の民間受注工事の進捗は新型コロナウイルスの影響で未定。 オリンピック関連で独自技術の売上が4倍になった。 前期よりの繰越工事により、6月までの売上は前年対比で若干増加。次期の見通しは、受注済の公共工事以外は未定。
卸売	工場の設備投資の残工事で売上増加。完了後は新型コロナウイルスの影響で、新しい仕事が少ない。
小売	ステイホームの好影響あり。 新型コロナウイルスによる特需の影響で、3~4月度の売上高が前年対比5%増加。 新型コロナウイルスの影響で、マスクや除菌系が好調。4月の売上は前年対比35%増加。
サービス	公共事業の需給状況。
不動産	家賃値引き等、若干新型コロナウイルスの影響はあるが、賃貸収入が堅調。
その他の非製造業	新型コロナウイルスの影響により、パソコン需要が増え、仕事量が増加。

「悪い」 (かなり悪い+やや悪い)

業種	事象
建設	不動産の部で、マンション、アパートの空室が多くなり収入が減少。 新型コロナウイルスの影響で、工事着工や打合わせに遅れが出ている。 主要客先の設備投資が減少。現在は残工事分で売上確保も、今後悪くなる見込み。 人員の減少に伴い、売上が前年同月比80%減少。
卸売	新型コロナウイルス感染対策の影響で、GWは90%近く売上が減少。 新型コロナウイルスの影響で、インバウンド需要及び観光地の人がまばなくなり、売上は昨年対比30%未満。 新型コロナウイルス感染拡大により、業務店へ納品している一般酒販店、業務用酒販店の売上が激減し、危機的状況である。 新型コロナウイルスの影響で、観光地での売上が20%減少。
小売	新型コロナウイルスの影響でガス機器、リフォームの売上が20~30%減少。 新型コロナウイルスの影響により、大半の店舗が休業。 緊急事態宣言により、FCへの販売契約が中止、変更となり、売上が30%程度減少。
運輸・通信	新型コロナウイルスの影響で、メーカー工場等は生産調整の休業となり、輸送納品できない状況にある。 自動車部品製造業の稼働停止により、流通(作業料)売上が2%減少。 新型コロナウイルスの影響で、売上が20%減少。また、イベントの中止や取材の中止などが増加している。
サービス	新型コロナウイルスの影響で、自主休館等営業を縮小。 新型コロナウイルスの影響による社会全体の自粛により、売上は80%以上減少。 レンタカー、車両販売等の売上が低迷。企業の出張等、自粛が長期化すれば業況回復が遅れる。 新型コロナウイルスの影響で、教室の月謝収入が2ヶ月間ゼロになった。 新型コロナウイルスによる学校休校の影響で写真販売が50%、休業要請により写真撮影などが70%減少。
電気・ガス	新型コロナウイルスの影響で、業務用の売上が減少。
その他の非製造業	新型コロナウイルスの影響を若干受けて、月商が減少している。

2. DI回答一覧(業種別)

項目	業況判断DI				売上				仕入価格				販売価格			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年
調査時期	1-3	4-6	4-6	7-9	1-3	4-6	4-6	7-9	1-3	4-6	4-6	7-9	1-3	4-6	4-6	7-9
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	-20	-30	-55	-70	-23	-32	-53	-71	21	23	4	0	-2	-5	-11	-17
製造業	-28	-36	-59	-74	-24	-33	-55	-74	21	25	5	-1	-3	-7	-8	-13
繊維	-27	-33	-90	-95	-20	-40	-73	-90	0	27	14	5	7	0	-5	-9
木材・木製品	-14	-71	-100	-100	-14	-71	-86	-86	14	14	14	-14	14	0	-14	-14
紙・パルプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
化学	14	0	-40	-33	0	-14	-30	-60	14	14	-10	-20	14	-14	0	-10
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	-17	-17	-71	-71	-33	0	-57	-86	33	33	0	14	0	0	0	0
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	-55	-55	-69	-71	-64	-45	-69	-67	27	9	19	0	0	0	-6	0
金属製品	-38	-52	-82	-100	-38	-71	-77	-95	24	19	14	14	-10	-10	-14	-14
一般機械	38	-63	-47	-59	13	-25	-33	-67	13	25	0	6	0	0	0	-17
電気機械	-50	-42	-36	-85	-50	-33	-36	-69	25	42	0	-8	-8	0	-7	-15
輸送用機械	X	X	X	X	0	0	-100	-100	75	75	25	25	-50	0	0	0
精密機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の製造業	-52	-17	-47	-67	-16	0	-47	-64	28	30	-3	-6	-12	-17	-8	-17
非製造業	-14	-26	-52	-68	-23	-32	-52	-68	21	22	3	1	-1	-4	-15	-20
建設	19	-13	-33	-63	-14	-29	-44	-75	22	22	11	5	-5	-11	-11	-24
不動産	22	11	-38	-38	0	0	-23	-38	13	-13	-18	-27	0	-11	-17	-33
卸売	-26	-39	-54	-76	-12	-35	-61	-83	21	24	14	11	0	-3	-6	-14
小売	-47	-33	-65	-66	-53	-37	-51	-58	20	33	0	0	3	10	-26	-24
運輸・通信	-27	-36	-44	-75	-20	-40	-13	-50	38	38	-8	-8	0	0	-8	-15
電気・ガス	X	X	X	X	-40	-60	-75	-100	20	20	-50	0	20	-20	-50	-25
サービス	-28	-28	-78	-82	-25	-29	-77	-74	22	14	-6	-3	0	-8	-22	-19
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	-45	-45	-36	-38	-27	-45	-57	-50	14	14	9	0	0	11	0	0

項目	経常利益				製・商品の在庫				生産・営業用設備				雇用人員			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年	20年
調査時期	1-3	4-6	4-6	7-9	1-3	4-6	4-6	7-9	1-3	4-6	4-6	7-9	1-3	4-6	4-6	7-9
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	-24	-34	-53	-70	9	6	14	9	2	4	5	7	-25	-24	-1	2
製造業	-29	-37	-56	-75	7	9	23	17	5	10	12	17	-11	-8	13	20
繊維	-27	-40	-82	-95	40	47	36	29	13	27	23	32	0	0	18	23
木材・木製品	-29	-71	-86	-86	0	14	0	-43	0	0	-14	-14	-29	-14	0	0
紙・パルプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
化学	29	0	-10	-30	-29	0	0	30	0	0	10	10	-14	-14	0	20
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	-17	-17	-43	-86	-17	-17	29	43	0	0	14	14	0	17	-14	0
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	-55	-36	-69	-67	9	18	50	33	0	18	25	13	0	9	31	21
金属製品	-43	-67	-73	-95	5	-10	14	14	10	14	18	27	-5	-14	32	41
一般機械	13	-25	-33	-61	-13	0	6	0	-13	0	0	6	-13	0	11	17
電気機械	-42	-50	-43	-77	25	25	14	-8	8	8	7	15	-17	-8	0	23
輸送用機械	-75	-25	-100	-100	25	25	50	25	0	0	50	50	-25	0	75	75
精密機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の製造業	-36	-14	-58	-78	4	0	28	22	8	4	14	17	-16	-22	17	14
非製造業	-20	-32	-51	-66	10	4	5	3	-1	-1	-0	-1	-35	-34	-11	-13
建設	-4	-26	-47	-71	0	2	-14	-5	-4	0	-7	-7	-71	-65	-38	-36
不動産	0	11	-31	-42	0	0	-15	-15	0	0	-8	-17	22	22	8	8
卸売	-26	-41	-58	-81	35	24	8	19	3	3	6	9	-18	-18	3	8
小売	-47	-37	-37	-58	14	-3	31	3	3	0	-12	-13	-33	-33	0	-6
運輸・通信	-50	-70	-44	-50	-13	-13	0	0	-9	-9	7	14	-9	-9	-25	-25
電気・ガス	-20	-40	-75	-100	0	20	0	-25	0	0	0	0	-20	0	-25	-25
サービス	-15	-23	-75	-71	10	-5	15	13	4	0	14	11	-27	-36	0	-8
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	-18	-36	-36	-43	0	-13	-9	-18	-11	-11	0	0	-9	-18	0	-7

※ 回答数が5社以下の業種は非表示 (Xと表示)